

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社
 コード番号 1730 URL <http://www.asofoam.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 河村 洋介
 (氏名) 原田 敬一

TEL 044-422-2061

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,861	38.3	0	—	3	—	2	—
26年3月期第2四半期	1,345	△4.3	△41	—	△36	—	△38	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	0.78	—
26年3月期第2四半期	△11.24	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,137	1,185	37.8
26年3月期	3,292	1,195	36.3

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 1,185百万円 26年3月期 1,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	20.0	65	30.6	56	△3.8	45	△20.0	13.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	3,420,000 株	26年3月期	3,420,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	6,194 株	26年3月期	5,636 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	3,414,049 株	26年3月期2Q	3,414,826 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
受注高、完成工事高及び繰越工事高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和策の継続などにより、ばらつきはあるものの企業収益や雇用環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調となりましたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響が長引き、また夏場の天候不順も重なり、個人消費の回復にもたつきが見られるなど先行き不透明な状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、企業の設備投資に持ち直しの兆しが見られ、また公共工事の前倒し効果から政府建設投資が増加しましたが、資材価格の上昇や建設労働者確保の困難傾向の中、建設コストの上昇が見られ、また住宅投資が消費税増税前の駆け込み需要の反動により減少し、後半には公共工事も息切れ傾向が出てきたこともあり、採算面や受注競争でも厳しい環境が続きました。

このような状況の下、当社は営業展開の強化をはかり、また施工人員の確保に注力し、引き続きコスト低減に取組み、受注量の獲得と収益性の改善をはかってまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の受注高は、地盤改良工事の受注高が住宅投資の減少や受注価格競争の激化などから前年同期に比べ減少いたしました。主力の気泡コンクリート工事の受注が順調に推移したことから、工事全体の受注高は1,875百万円（前年同期比10.7%増）と増加し、売上高につきましても、前事業年度からの繰越工事高が多かったことや施工も順調に推移したことから、工事全体の完成工事高は1,854百万円（前年同期比40.0%増）と大幅に増加し、商品販売を含めた全体の売上高は1,861百万円（前年同期比38.3%増）となりました。

各段階の損益につきましては、施工効率の向上に取組むとともにコスト低減に注力いたしました。前事業年度からの気泡コンクリート工事の大型継続工事において、一部の材料や資材の価格が予想以上に上昇したことなどにより完成工事総利益率が低下したことから、営業利益0百万円（前年同期は営業損失41百万円）、経常利益3百万円（前年同期は経常損失36百万円）、四半期純利益2百万円（前年同期は四半期純損失38百万円）となりました。

なお、当社の主たる事業である建設業の特徴として、完成工事高の割合が第4四半期会計期間に偏るという傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ154百万円減少し3,137百万円となりました。その主な要因としましては、受取手形が20百万円増加しましたが、現金預金が151百万円、完成工事未収入金が38百万円減少したことなどによる流動資産の減少によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ144百万円減少し1,951百万円となりました。その主な要因としましては、短期借入金が12百万円、リース債務が13百万円増加しましたが、支払手形が34百万円、工事未払金が72百万円、長期借入金が80百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ10百万円減少し1,185百万円となりました。その主な要因としましては、当第2四半期累計期間に四半期純利益を計上し、その他有価証券評価差額金もプラスに転じましたが、配当金の支払いをしたことにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は40百万円（前年同期は87百万円の使用）となりました。

これは主に売上債権の減少22百万円となったものの、仕入債務の減少102百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は22百万円（前年同期は3百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は88百万円(前年同期は184百万円の収入)となりました。

これは主に短期借入金の増加12百万円となったものの、長期借入金の返済による支出80百万円、配当金の支払額14百万円などによるものであります。

これにより当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前事業年度末に比べ151百万円減少し、389百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しとしましては、気泡コンクリート工事の需要が多くあり受注が見込まれ、また完成工事総利益率の低い工事が減少する見込みであるため、平成26年5月15日に公表しました平成27年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	541,211	389,992
受取手形	306,683	326,795
完成工事未収入金	942,487	904,006
売掛金	5,708	1,444
未成工事支出金	—	5,234
原材料及び貯蔵品	25,792	23,754
前払費用	13,815	11,264
繰延税金資産	8,877	10,592
その他	15,538	12,774
貸倒引当金	△148	△191
流動資産合計	1,859,967	1,685,668
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	58,952	56,424
構築物(純額)	150	128
機械及び装置(純額)	53,638	56,848
車両運搬具(純額)	226	158
工具、器具及び備品(純額)	4,401	5,391
土地	1,122,839	1,122,839
リース資産(純額)	35,867	48,310
有形固定資産合計	1,276,075	1,290,101
無形固定資産		
ソフトウェア	5,267	6,139
電話加入権	2,350	2,350
無形固定資産合計	7,617	8,489
投資その他の資産		
投資有価証券	22,597	27,579
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	6,591	6,591
長期前払費用	3,023	3,201
繰延税金資産	4,019	3,459
敷金	13,999	14,146
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△22,006	△22,006
投資その他の資産合計	148,398	153,145
固定資産合計	1,432,092	1,451,737
資産合計	3,292,059	3,137,405

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	691,418	656,796
工事未払金	400,899	328,626
短期借入金	108,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	160,000	160,000
リース債務	8,065	11,643
未払金	51,858	50,780
未払費用	9,529	9,548
未払法人税等	9,557	4,194
未払消費税等	9,554	14,205
未成工事受入金	—	1,202
賞与引当金	18,168	20,800
完成工事補償引当金	674	3,780
その他	1,612	1,659
流動負債合計	1,469,338	1,383,239
固定負債		
長期借入金	395,000	315,000
リース債務	29,595	39,573
退職給付引当金	162,640	170,536
役員退職慰労引当金	39,824	43,604
固定負債合計	627,059	568,713
負債合計	2,096,397	1,951,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	985,000	985,000
繰越利益剰余金	△198,350	△212,770
利益剰余金合計	810,699	796,279
自己株式	△1,352	△1,529
株主資本合計	1,198,946	1,184,349
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,285	1,102
評価・換算差額等合計	△3,285	1,102
純資産合計	1,195,661	1,185,452
負債純資産合計	3,292,059	3,137,405

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,345,543	1,861,006
完成工事高	1,324,441	1,854,017
商品売上高	21,102	6,988
売上原価	1,125,611	1,587,291
完成工事原価	1,108,960	1,582,021
商品売上原価	16,650	5,269
売上総利益	219,932	273,714
完成工事総利益	215,480	271,995
商品売上総利益	4,452	1,718
販売費及び一般管理費		
役員報酬	24,012	24,409
従業員給料手当	103,209	101,781
賞与引当金繰入額	7,356	10,278
退職給付費用	4,104	5,867
役員退職慰労引当金繰入額	3,737	3,779
法定福利費	19,051	19,596
福利厚生費	730	809
修繕維持費	4,555	3,653
事務用品費	2,993	2,926
通信交通費	22,767	24,052
動力用水光熱費	3,269	3,352
調査研究費	133	1,093
広告宣伝費	810	415
交際費	3,050	2,201
寄付金	32	12
地代家賃	16,734	16,884
減価償却費	8,030	4,818
租税公課	8,423	8,525
保険料	967	892
雑費	27,395	37,470
販売費及び一般管理費	261,365	272,821
営業利益又は営業損失(△)	△41,432	893

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業外収益		
受取利息	26	40
受取手数料	152	143
受取配当金	5,353	344
受取技術料	3,597	7,819
雑収入	99	142
営業外収益合計	9,229	8,490
営業外費用		
支払利息	4,155	4,510
支払保証料	63	—
手形売却損	28	—
社債発行費償却	141	—
雑支出	251	1,664
営業外費用合計	4,640	6,175
経常利益又は経常損失(△)	△36,843	3,209
特別利益		
固定資産売却益	—	213
特別利益合計	—	213
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△36,843	3,423
法人税、住民税及び事業税	960	2,520
法人税等調整額	582	△1,748
法人税等合計	1,542	771
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,386	2,651

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△36,843	3,423
減価償却費	15,708	19,147
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	43
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,435	7,896
賞与引当金の増減額(△は減少)	△120	2,632
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,737	3,779
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△22	3,106
受取利息及び受取配当金	△5,380	△385
売上債権の増減額(△は増加)	277,608	22,633
支払利息	4,155	4,510
固定資産売却益	—	△213
未成工事支出金の増減額(△は増加)	1,426	△5,227
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,829	2,038
仕入債務の増減額(△は減少)	△325,946	△102,303
未払金の増減額(△は減少)	△7,659	△167
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,969	4,651
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,728	1,202
その他	2,903	3,595
小計	△81,066	△29,640
利息及び配当金の受取額	334	385
利息の支払額	△4,843	△4,334
法人税等の支払額	△1,952	△6,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	△87,527	△40,211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,634	△21,031
有形固定資産の売却による収入	—	245
無形固定資産の取得による支出	—	△1,947
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,634	△22,732
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,000	12,000
長期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△55,000	△80,000
社債の償還による支出	△10,000	—
リース債務の返済による支出	△4,359	△5,270
自己株式の取得による支出	△197	△177
配当金の支払額	—	△14,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	184,442	△88,275
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	93,280	△151,218
現金及び現金同等物の期首残高	382,384	541,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	475,665	389,992

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注高、完成工事高及び繰越工事高

(1) 受注高

期 別 工事別	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,307,794	77.2	1,648,379	87.9	2,831,130	78.8
地盤改良工事	385,162	22.7	227,463	12.1	756,881	21.1
その他工事	1,000	0.1	150	0.0	2,660	0.1
合計	1,693,957	100.0	1,875,992	100.0	3,590,672	100.0

(2) 完成工事高

期 別 工事別	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	913,959	69.0	1,641,727	88.6	2,519,647	76.8
地盤改良工事	409,481	30.9	212,139	11.4	759,549	23.1
その他工事	1,000	0.1	150	0.0	2,660	0.1
合計	1,324,441	100.0	1,854,017	100.0	3,281,857	100.0

(3) 繰越工事高

期 別 工事別	前第2四半期累計期間末 平成25年9月30日		当第2四半期累計期間末 平成26年9月30日		前事業年度末 平成26年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	865,691	98.1	789,992	93.7	783,340	95.3
地盤改良工事	16,572	1.9	53,546	6.3	38,223	4.7
その他工事	—	—	—	—	—	—
合計	882,264	100.0	843,538	100.0	821,563	100.0